

授業科目	保育方法とメディア				単位	1		
履 修	選択	関連資格	幼二種免 保育士		ナンバリング	CH31314J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP4-2			
担当教員	末寄 雅美、谷崎 太							
授業概要	この授業では人間形成上極めて重要な幼児期におけるメディア利用について、これまで提唱され実践されてきたすぐれた教育方法とメディアを再考することを通して考える。また、保育者として必要な機器やサービスについても理解する。なお、この授業においては、保育者としてのプレゼン能力を培う「アクティブ・ラーニング」(AL)の手法を積極的に取り入れることや、情報機器を活用した保育資料の作成を行うことを通して、指導の方法を実践的に学ぶ内容となっている。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育方法の基礎的理論・実践を理解し、これからの社会に必要な主体的・対話的で深い学びの教育方法の在り方が理解できる 2. 保育室、教材、メディア関連機材など保育を構成する基礎的な要件を理解し、話法等の技術を身につけている 3. 乳幼児期の発達を十分理解した上で、「メディア(媒介物)」の活用を考え、保育者として必要な情報機器およびサービスの活用の技術を習得する 4. 情報技術の発展と子育て環境との関係を理解し、保育者として相応しい態度を身につける 5. 学習指導理論を踏まえ、ねらいと内容、必要な教材、展開の方法、評価基準の視点を含めた指導案が作成できる 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	50	10	40	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)			25		40		65	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)			25	10			35	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベル 1-5 を全て達成した上で、自らの保育目的に最適な教育(保育)方法を考えることができる。 さらに、その教育方法を展開し、情報機器を活用したプレゼンテーションができる。				<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育方法の基礎的理論・実践を理解し、これからの社会に必要な主体的・対話的で深い学びの教育方法の在り方が理解できる 2. 保育室、教材、メディア関連機材など保育を構成する基礎的な要件を理解し、話法等の技術を身につけている 				

		<p>3. 乳幼児期の発達を十分理解した上で、「メディア(媒介物)」の活用を考え、保育者として必要な情報機器およびサービスの活用の技術を習得する</p> <p>4. 情報技術の発展と子育て環境との関係を理解し、保育者として相応しい態度を身につける</p> <p>5. 学習指導理論を踏まえ、ねらいと内容、必要な教材、展開の方法、評価基準の視点を含めた指導案が作成できる</p>		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	はじめに(授業についてのガイダンス)、保育におけるメディア環境について、「教育方法」のとらえ方(末寄)	講義	シラバスを読んでおく。教育実習3の実習先で、どのような情報機器が使われているか観察しておくこと。	60
2	教育の諸理論と教育方法(1)主体的・対話的な学びにつながる保育(末寄)	講義	復習：授業内に出てきた教育・保育方法について自己学習を行う	30
3	教育の諸理論と教育方法(2)様々な保育の方法を考える(末寄)	講義	復習：授業内に出てきた教育・保育方法について自己学習を行う	60
4	保育方法とメディア教材について(末寄)	講義・演習	復習：幼児の育ちとネット環境について、保育現場での実践事例を調べておく	60
5	保育方法と教材について(2)PCを用いたプレゼン方法の技術を学ぶ(谷崎)	演習	テーマを決め、プレゼン資料に必要な写真や文章を作成する	30
6	保育方法と教材(3)保育資料の作成、PCソフトの活用を学ぶ(谷崎)	演習	ソフトを用いて資料を仕上げる	30
7	保育方法と教材について(4)保育実践の記録化・可視化、ポートフォリオの技術を学ぶ(谷崎)	演習	課題を仕上げる	60
8	保育方法と教材(5)学生によるプレゼンテーション実践と相互評価・自己評価(谷崎)	演習	予習としてプレゼンテーションに必要な情報を整理する。復習としてプレゼンレポートの提出。	60
9	メディアリテラシーを高めるー情報化のリスク・保育現場における情報の取り扱い(谷崎)	講義・演習	授業内容をまとめ、PP資料を作成し提出。	60
10	保育教材について学ぶー教材作成と著作権について(末寄)	講義・演習	保育の現場で用いる資料と著作権について、レポートを作成する。	60
11	メディア接触と子どもの発達について(1)スマホ・PC・ゲームの影響を考える(AL)(末寄)	講義・演習	次回の授業に向けた情報を集めレポートを作成する	30
12	メディア接触と子どもの発達について(2)子育てとSNS(AL)(末寄)	演習	ALの振り返りワークシートを仕上げる	30
13	メディア接触と子どもの発達(3)幼児期のネット環境と子育て(末寄)	講義	感想ワークシート作成	30
14	保育現場におけるメディア環境「保育現場におけるメディア活用の設定」「保育現場のICT」(末寄)	講義・演習	ワークシート作成	30

15	まとめー子どもの育ちとメディア活用を考える	講義	期末レポート作成	180
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	<p>実習園で、どのような情報機器がどのような場面で使われているか、観察しておく。 子育てや保育に関するネットニュースや記事などを読み、関心を高めておく。 PCが身近にある場合は、ワード文書作成など基本的な入力作業について慣れておいて欲しい。 また、これまでの授業で学んだ子どもの心と身体の発達段階について、遊びを重視する保育方法について復習しておくこと。</p>			
テキスト	プリント配布			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業内で指示。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>図書館を使った授業も行います。積極的に図書館を利用し、必要な資料を集める、読む、まとめるという学習を積み重ねましょう。 またスマホやPCを用いる授業もあります。苦手意識を持たずにチャレンジしてください。</p>			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	<p>担当者からそれぞれレポート課題が出されます。単位認定には、両方の課題レポート提出が必須となります。演習科目のため、授業内でのワークシート作成や課題など、提示される提出物はきちんと提出しましょう。提出物により学習成果を評価します。 プレゼンテーションやグループワークへの積極的な参加の態度を求めます。</p>			

